

## 平成28年度 第1回 西伊豆町総合教育会議議事録

平成28年7月26日（火）  
午後2時30分から午後4時  
福祉センター 大会議室  
欠席者なし

**町当局** ただ今から、平成28年度第1回西伊豆町総合教育会議を開会いたします。

はじめに町長から、御挨拶を申し上げます。

**町長** 本日は御多忙の中、本年度初めてとなります「総合教育会議」に御出席をいただき、御礼申し上げます。昨年度は、「西伊豆町教育大綱」等について意見交換をさせていただき、町の教育行政の方針について、相互に意思疎通が図れたものと考えております。今回は、懸案となっております「園・学校統合」と「平成28年度における教育委員会関係の新たな取り組み」が議題となっておりますが、子供達のことを最優先に考えていただき、当町の教育行政の更なる充実に向けて、率直な意見交換をさせていただければと思います。本日は、よろしく申し上げます。

**町当局** 引き続き、議事に入ります。議事の進行は、座長であります町長にお願いいたします。よろしく申し上げます。

**町当局** それでは、初めに議事の1番目、「園・学校統合計画について」ですが、まず初めに、教育委員会事務局から児童・生徒数の現状について説明をさせますが、事務局が説明する前に私の方の統合の進め方について、皆様方にお話しさせていただきます。去年、一昨年から統合については町民や父兄の方々とお話をさせていただきましたけども、同意が得られなかったということで一時見送りをしております。そういう中で今後どうしたらいいのかということを考えておまして、今私が考えているのは皆さんの意見を聞いているとどうしても最後に自分のエゴが出てくるということがあると思いますので、意見の共立ができないと思いますので、それなら案を提供していただければその中から一つを決めるという方法をとらないと行政主導でできないのかと思います。そういう方向で進めたらどうですかということで、この

ような会合で聞いて色々な案を出していただいて、その中で4つか3つにまとめて、その中の1つを町は選択しますということで進めてはどうかという思いがあります。私の視点になりますがお話しして、皆さん方の意見を聞きながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

**町当局** お手元の資料NO, 1をご覧ください。まず、「平成28年度乳幼児・児童・生徒数」をご覧ください。1枚目が、平成28年度の乳幼児、児童、生徒数になります。こちらをご覧くださいなれば少子化が急速に進んでいることが分かるかと思ひます。中学生の同学年の数は60人前後ありますが、乳幼児になりますと40人を切ってくる状況でありまして、更に、昨年度の出生数は全町合わせても12人となっております。なお、今年度の7月15日現在における、2月4日出産予定までの出生数は、18人となっております、特別な増加要因がない限り、今後は20人前後の出生数で推移するものと思ひます。では次のページをお願ひします。今後の児童・生徒数の推移ですが、まず、小学校になります。最初に複式学級となる基準について、ご承知の方もいらっしゃるかと思ひますが、少し説明をさせていただきたいと思ひます。同じページの一番下に記載ありますが、こめ印の一番目が複式学級となる文部科学省の基準になりまして、1年生を含む場合は8人以下、それ以外は16人以下になると複式学級となります。ただ、こめ印の3つ目に記載してございますが、静岡県独自の措置として、2つの学年を合わせて15人か16人の場合は、複式学級解消のため1人を加配する配慮がされております。では、表をご覧くださいなりたいと思ひますが、色塗りされたセルが2クラス合わせて15人か16人で、複式解消加配の対象となるところであります。また色塗りさせたセルで、更に太い線で囲まれているところは、2クラス合わせて14人以下となり複式学級になるところであります。田子小学校を見て頂きますと、平成28年度の2・3年生は、2クラス合わせて16人でありまして、複式解消加配をいただいております。ただ、教職員の全体の配置数は減少することから、教職員が研修などに参加しにくくなったり、1人減った教職員のカバーをするため教頭の負担が増加するなどの課題も出てきております。更に、平成29年度には、2・3年生が合わせて13人となり、複式解消加配もなくなり、校長と教頭を除いて5人の教職員数となる状況であります。以降、2クラス合わせて16人以下となるケースが毎年出現することとなります。また、賀茂小学校ですが、平成33年度に複式学級

が出現し、更に平成35年度には、2つの複式学級が出現し、教職員数も校長と教頭を除いて4人になると推測されます。一番下の町内全体の小学生の合計数を見ますと、平成35年度には157人と推測されておりまして、現在の半分近くになるものと思われまます。では、次のページの「2 中学校」をご覧くださいと思います。こちら最初が一番下の米印のところをご覧くださいと思います。通常は、1クラスが40人を超える場合は、2クラスになりますが、静岡県では静岡式35人学級、下限25人を実施しておりまして、1学年が75人以上となる学年は、3クラスに分けることが可能となっていました。平成28年度から、中学校は静岡式35人学級の下限を撤廃し、1クラスが35人を超える場合は2クラスに分ける選択が出来るようになりました。表のセルが色塗りされているセルがその対象となる学年であります。一番上の西伊豆中学校をご覧くださいと思いますが、今年度、平成28年度は全ての学年が2クラスにできる対象となりまして、現在は全ての学年が2クラスになっております。ただ、平成35年度からは全ての学年が1クラスになる見込みです。賀茂中学校につきましては、今後も1学年1クラスが見込まれ、平成39年度には現在の3分の1程度になり、1学年も一桁になる見込みであります。一番下は2校が統合した場合になりますが、平成39年度までは複数クラスが出現しますが、生徒数が現在の半分程度になってしまう見込みであります。以上、資料NO. 1の説明とさせていただきます。

**町当局** 今説明が終わりましたが、統合についてどのようにお考えをお持ちなのか意見をお聞かせください。

**委員** 少し調べてきたのですが、統合自体に反対という人は本当にごく僅かな人だと思います。統合には賛成だけれども、条件がそぐわないという部分で前は頓挫したと思います。やはり統合したらメリットが沢山あるということ売り文句が無かったと思いますが、これからは時間をかけてでも町長がおっしゃったように色々な案を提示して、こういう資料も踏まえた上で何年にはという意味で決めてしまうということもいいと思います。数字を見れば明らかですから、何年には統合を進める予定ですということで、当該のお子さんを持っている親御さんに時間をかけて覚悟させることが大事だと思います。突然来年から統合となると反発が来ると思うので、時間をかけて覚悟を決めさせることが大事だと思う。今後はすごく根深いと思うのですが、それは地域

のアイデンティティがまだ強い部分があると思う。それは実に結構なものですけども、これからは西伊豆町一丸となるという精神的な改革が必要だと思います。中高年の方にそれを説いてもなかなか難しいと思います。それぞれの町のアイデンティティがあるので腑に落ちない部分もあるかと思いますが、その理想を追ったら子どもが犠牲者になってしまう。それならば地域のアイデンティティを残しつつ西伊豆町として一丸となる感覚になっていかないと、これから先、力を合わせないと西伊豆町が持っている問題の根幹となります。それにはやはり精神的な一体感といいますか、地域のアイデンティティを消すということは無理な事だと思うので、それは持っていてもいいと思うのですけども、それに一丸となることを足していけばいいと思います。私がよく教育委員の定例会の時に言うのですが、市町マラソンは良い題材になると思います。あれは1位にしようということではなく、同じ方向を向くということがとても大事だと思います。色々な地域が同じ方向を向くような教育といいますか、これからの子どもには西伊豆が一体化になるような気持ちになっていったらいいと感じました。

**委員** 私は今、母親世代で当事者の世代なのですが統合は気が向かないという意見は全く聞きません。なぜあの時の反対があったのだと思うくらい統合はしなければいけないと聞くのですが、今はあちこちで統合の場所はどうしようという話が出なくなったところでございます。統合はしなければいけない、子どもの人数は減少していることは現実なので、統合にあたってはしなければならぬところでは心は決まっています。統合先の新校舎はできるのかできないのか。できるのであれば一番いいのではないかと思うのですけども、できないのであれば行政が考える一番を明確に打ち出して、最善の努力をしてこの統合を迎えるというところをしっかりと打ち出してほしい。それこそ一番減少する歳が統合するのに一番いいタイミングです、というように打ち出して、統合を決めることが進み方としては良いと思います。沢山ある案から選んでくださいとなると、色々な地区ごとで意見が分かれると思いますので、町として一番いい案を1つに絞った方がいいのか分からないのですけども、最善を尽くしてここに決まったということ、自信を持って打ち出して統合へ進むのが良いのかと考えます。

**委員** 地域に学校がなくなるのは寂しくなるが、この資料で現状を見ると統合をせざるを得ないと思います。色々ありましたけど先ほど町長が

おっしゃられたように町として案を煮詰めて、提案をしていくということに私も賛成です。そういう風にしていかないと意見がまとまらないと思います。是非そういう方向で町として案を出して、少しでも皆さんが納得する期間があるようにしていけたらいいかと思います。

委員  少し分からないのですが、先ほど藤井さんと渡邊さんがおっしゃっていた統合の話し合いをしたときに、色々な事で統合が駄目になったということですが、細かいことの反対で統合が駄目になったということですか。

委員  一概にはそうと言えないのですが、大体のニュアンスを私は感じました。統合自体に反対という人も少しは居たように感じました。

委員  具体的な提示をしていかなければ、賛成か反対かが分かれるということなのですか。

町当局  現状使っている学校を使ってくれば賛成だったと思う。

委員  それぞれの地区で現状使っている学校を使ってくれば賛成だったのですか。

町当局  それぞれというのか、賀茂小中学校の方々はそういう意見がすごかった。多数決で行えば仁科が勝つと思う。ですが町が割れてしまうのでやりたくはない。なので旧賀茂地区の方々がその気持ちになるまで待とうということで、白紙にしましたが、旧賀茂地区の方々はいつ頃が良いのか分からない。最初の父兄との話し合いの時はすぐにやってほしい、一番早くやる時期を調べて町が進めてほしいということで、教育長と話をしたら平成29年4月からできるということでそれでどうですかと出したら、賛成していた方も反対だったのでそれなら待とうということになった。

委員  こっちに来てくれるならばいいとか自分の子どもが何年生の時はやらないとかそういう意見もありました。

委員  先ほど町長がおっしゃった町で案を出すという取り組みも本当に細かいところまで考えるのですか。

**町当局** ある程度不便さを感じさせないものは最低限やらなければならないと思っている。ただ巡回バスを出したらどうかと言われるが私は支所、出張所を統合して無くして、バスを巡回させればそこが無くても不便を感じないかと思う。それが学校統合を含めて子ども達が巡回バスに乗ればそれに越したことはないということがあるので、色々総合的に考えて多少は不便になる方もいると思うが、便利になる方もいる。そういうことを考えて統合を進めていったらいいかと思う。そして皆さん方の意見で時期をとということだが、私の任期が来年の4月まで。そうすると4月までにある程度の施策を打ち出してもいいのか、それとも新しい任期になって4年間かけてまとめた方がいいのか、その辺が自分でも迷っているところでもある。今私たちが決めてしまえば任期で新たに再任されるかやめるかのどちらかになる。やめていくと責任がない。なのでその辺りの持っていく方を色々な意見があると思うが難しい。

**委員** 町長がもう1期やっていただけるのであれば、明確な話し合いができると思いますが、町長が変わったとなると意味がないので、今そこまで明確な計画を立てるのは難しいと思いますが、ただこんな議論が出たということはたくさんあってもいいと思う。

**町当局** ある程度の方向性は次の任期、私がやるやらないは別として、来年の4月以降に4年間で統合をやるというような格好で進めていけば穏便に行くのではないかと考えている。

**委員** 私も思うのですが、小さな案をいくつか出すというのも案かもしれませんが、できればみんながときめくような案が理想としてあると思います。これだけ数が少ないのだからこんなところにお金をかけてもしょうがないじゃないかというのは悲しいといいますか、将来無駄になるかもしれませんが子どもに希望を持たせないようなことではなく、先が見えていたとしても上等な所で誰もがいいと言える場所を新築で建ててやりたいと思います。そこから何かの可能性として、ここに希望を見いだせなくて子どもがどうせ少ないのだから灰色の物を立てるのではなく、先がもうないのだけでもカラ元気でも新しいみんながわくわくするような学校を建ててやりたいと思います。

**町当局** 前に話をどこかでしたと思うが、松崎高校の存続を皆さんはどう思

うか分からないのだが、これを真剣になって考えなければならない時期に松崎町も西伊豆町も来ていると思う。定員が120人のところ、100人を切った99人となっており、定員を切った場合には統廃合の対象になると言っているが、ここは大目に見てもらっている。この前に非公式に県の幹部と話をしたときに、下田高校は無くても松崎高校と稲取高校を残せばいいと言った方がいた。それは真ん中にもっていかなくても両端にあればいいのかと、面白い発想だと思った。色々県の方でも考えている。

、

もし松崎高校が廃校になってしまったら保護者は大変になると思う。

**委員** 宇久須から土肥高校に行くのと、松崎高校に行くのではどれくらいの時間の差が出るのでしょうか。

**町当局** 同じくらいだと思う。色々私の頭の中には考えがあるのだが、それをいつ皆さんにお伝えすればいいのか、また議会にも話をしなければいけない。私が今言ったらいいのか、次の町長、私になるのか誰になるのか分からないが、それに伝えて言ったらいいのか、色々なことを考えると軽はずみに言うのはよくないと思う。

**委員** それは一つに絞れているのですか。

**町当局** 私の中では絞れている。

**委員** いくつか案を持っているのではなくてということですか。

**町当局** 案はあるけれども、これで行きたいというものはありません。その中で私が思っているものに皆さんが賛成してくれればいいけれども、それよりもこっちの方が良いというものがあれば、考え直さなければなりません。



ある町長は私たちのところは数が少なくてもいい。その地区へと小学校、中学校を残すという風に進んでいる町もある。それが子ども達や地域のためにもなる。3人でも4人でもやるというように言っている人はいる。

委員 私はこんなにグローバルな世界になると本当にいいか悪いかは別として、切磋琢磨して生きていかないと、とても世の中に出て生きられないから、5人くらいで大事にとというのはある意味良いのですが、世の中に出てやっていけるかというのが不安に思っております。

委員 その一点ですね。その問題よりも大きな問題があるとは思えない。これに優る問題は無いと思う。今現在起こっている問題として津波よりも大きいものだと思う。

委員 生きていかなければ。自分で食べていける人間にならなければ。

委員 世の中の縮図になっていませんから。これが10人になっても20人になっても少ないのかも分からないですが、それでも一人でも多い他人とコミュニケーションを取っていくことがこれに優る経験はないと思います。5教科では絶対補えない部分だと思う。

委員 これからは全てコンピューターがやってくれる時代が来ると思います。

委員 でも対人間とのストレスは無くならないと思います。それは出来るだけストレスが無いように個として生きていこうとしているから。それは単に弱くなって行っていると思います。だからいいんだということではなく、全体で見たらグローバル化だと思います。

町当局 統合の問題はこれからの大きな課題になると思うので、どれくらい時間をかけて行ったらいいのか、またこれからこういう会合、会議、議会等で話をしてどういう方法で進めるか段取りを皆さんにも考えていただいて進めていきたいと思います。また時期が来たら今私が言ったようなことを一つの案として皆さん方にお知らせしていこうと思いますので、その時にはまた議論していただいて、皆さん方もどこかで

こういう方法はというものもあるかと思しますので、課題と解決を考えていただいて、いい方法がありましたらご意見を頂ければと思います。

**町当局** 議事の（１）園・学校統合についての意見交換は以上とさせていただきます、（２）教育委員会関係の新たな取り組みについてを議題といたします。

まず、教育委員会事務局から資料の説明をさせます。

**町当局** それでは、資料NO, 2の平成28年度、教育委員会関係重点施策（新規・拡充）について、ご説明させていただきます。上から順番に簡単に説明をさせていただきますので、全ての説明が終わりましたら、意見交換をお願い出来たらと思います。では最初に、「間伐材利用促進事業関係」になりますが、①町長の発案によりまして、間伐材を利用し、平成27年度の小学校卒業生に本立て、平成28年度の小学校入学生に机と椅子を寄贈しましたが、学校現場から非常に好評であったことから、机と椅子については、平成29年度の全小学生（2年生を除く）に寄贈することにいたしました。また、②幼稚園で使用するテーブル、③の旧田子中学校の文化財展示室の展示台にも間伐材を利用して作成することにしております。次に、「子育て支援関係」になりますが、全てが新規事業になりますが、こちらも町長の子育て重視の思いから決断をされた施策となります。①と③につきましては、保育事業に関する保育料の無償化、②につきましては、幼保の給食費無償化の取り組みでありまして、保育料と給食費の両方の無償化は県内では初となりましたが、全国的にもあまり例がないものと思われれます。次に、④放課後児童クラブの設置につきましては、子ども・子育て会議において、保護者の方々と意見交換をさせていただき実現できた事業になりまして、今年5月から仁科小学校で開設をいたしました。現在は、夏期のみ利用の子もいますが、20名近くの子供が登録をしております。次が、⑤一時預かり事業における受け入れ態勢の緩和ですが、今までは3日前までに申し込まないと受け入れできませんでしたが、保護者の病気や急な用事等にも対応するため当日でも対応できるよう体制を整えました。最後に、⑥仁科子育て支援センターの土曜日開放ですが、試行的に仁科子育て支援センターのみで午前中開設しまして、これにより、お母さんだけでなくお父さんの利用があるなど、一定の効果はある状況ですが、更に検証して次年度以降どのようにするか、

町長とも協議をしていきたいと考えております。次に、「不登校対策事業」関連になりますが、近年、不登校児童、生徒が増加している状況があり、その対策も急務であったことから次に事業に新たに取り組みました。まず、①適応指導教室の開設になりますが、不登校児童・生徒の学校復帰を支援するための教室でありまして、正式には2学期から田子公民館の一室を利用して開設することで準備を進めております。次に、②不登校対応心理カウンセラーの充実ですが、こちらは、スクールカウンセラーや県教委の指導主事との信頼関係が構築出来なかった場合など、緊急的に依頼するための予算措置をさせていただいております。では、次に「国際教育の推進」になります。まず、①外国人講師の充実ですが、平成26年度までは業者に委託し、外国語講師を1名配置していましたが、国際教育の充実を図るため、昨年度途中から、外国語指導助手3名、スポーツ国際交流員1名を配置しました。更に、平成28年度から新たに国際交流員1名を加えて配置し、明日の夕方来町予定ですが、更なる国際教育の充実を図っていきたいと考えております。次に、②中学生国際交流事業ですが、台湾の澎湖県に三四郎島のトンボロ現象と同じようなものがあることから、友好公園を締結しまして、それが縁で、澎湖県の中学生と当町の中学生が交流することになりまして、来月の中旬に各中学校から男女1名ずつの計4名を台湾に派遣し、ホームステイなどを行う予定となっております。③英語教育カリキュラム作成委託ですが、こちらは、文部科学省の指導要領に規定されていない幼稚園の年長から小学校4年生までの英語教育プログラムを静岡大学との共同研究を行い、幼少期から4年生までの英語教育の標準化を図り、誰が教えても一律の英語授業が出来るようにしたいと考えています。最後に、「教育環境の整備・充実」になりますが、①ICT環境の整備であります。町では、今年度末までに光ファイバー網の整備を完了する予定となっております。ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）環境がより充実されることとなります。また、民間のタブレット学習の活用や大型液晶テレビの設置なども今年度行っております。以上、資料NO. 2の説明とさせていただきます。

**町当局** 只今、教育委員会事務局から説明がありましたが、何かご意見があればお願いします。

**委員** 幼稚園保育料や保育園の給食費の無償化等、幼稚園と保育園の無償

化が実現してきたところで、小学校中学校の子どもを持つ親御さんからは、小中学校の年代が一番かかるという声をたくさん聞きます。そのところで、幼保の無償化が実現した中で、町として一番かかる中学校、それこそ高校の定期代がいつも話題に上がるのですが、その所も小さい歳ではないのですけども、支援として何か世代に手助けになれる事業があったら不公平感を感じずに子育てが頑張れるのかと思いました。

**町当局** 公平等を考えていたらこんなことはできない。だから今小学生中学生の親御さんたちは、幼稚園保育園を過ぎましたけども今からここで幼稚園保育園児を育てる家庭がある程度支出が少なくなればいい。これをやったきっかけは中学生まで給食費を3分の1補助しようなど議論をした。それよりも保育料や保育園の給食費無償化の方が、インパクトがあるのではないか、それがもしかしたら人口減少につながるのではないかというようなことも総合的に考えたので、このように選んだことを御理解していただきたい。

**委員** とてもよく分かりました。

**町当局** こういうことをやると議員の方々には高齢者にもという話が出る。それはそういう意見が出ても、こういう小さいお子さんを持っている家庭の支援になればいいと割り切って考えている。

**委員** 台湾に行くということだが、どういう基準で選んだのですか。それと噂で聞くと田子に英語の塾があり、そこに行っているようなことを聞くのですが、こういう外国人講師の方々を受ければ高いお金を払わなくて済むような教育になればと思いました。

**町当局** 選考基準については、今年度については学校長が推薦する者ということで、生徒会役員で限定しようという話も合ったのですが、今年度はそういう意思で生徒会長などになっているのではないので、今年度については校長が推薦する者となります。基本的に要綱としては校長が推薦するものということでそれぞれ学校の中で面接等を行って選定された形です。またあくまで学校の代表の意識がある者ということで選定してもらったところです。それから外国語教育の充実というところで、ここがまさに一番力を入れているところです。静岡大学との共

同研究と先ほどありましたけれども、西伊豆町の子どもの数が 400 何十人しかいないのだが、5 人も外国人講師がいるのは全国でもほとんど無いと思います。これだけ外国語講師やスポーツ講師が入ってくるのはなかなかありませんので、そういった点では社会教育、英語教育を含めながら少人数だからこそその少人数教育を徹底できると思います。

**町当局** 中学生の交流について、最初は修学旅行で行ったらどうかと投げかけたのだが、ただそれを言ったときに私の任期がここで終わり、もし町長が変わって 1 年で終わったら何のためにやったのか分からない。次の町長がそのまま続けてくれればいいのだが、心配だから今年度修学旅行は見送らせていただきたいという話がありました。そういうことでそれでは代表の生徒を送ったらどうかということで、今教育長が言ったような話の中で進めていった。そして今の英語教室ですが、これはもしそういう要望が父兄の方から強ければ町である程度英語教室を開いてもいいのではないかという思いが前からあり、民間の企業の方々に英語教室をやったらどうかと観光協会などに投げかけているもので、もし父兄の方々が今後こういう声があれば話をしてみて、どういう反応なのかその辺はまだ検討する余地はあるかと思う。それでいいか。

**町当局** それでいいと思います。要望があればどれくらいでも。講師たちも授業時間数が少ないので、もっと英語を喋りたいと思っている。

**委員** 講師が生徒の数に対して多いので、まだ出来ることはあると思う。突拍子のないことかと思うのですが、学校間を超えて何か一つになるフィルターにもなれるのではないかと。外国人からしてみれば区切りは無いので、いい意味で混ぜり合えるのではないかと思います。彼らはもっと色々なことができる気がします。各々が点で活動するのではなく、点と点を繋ぐような仕事もできる可能性があるのではないかと感じます。

**委員** 今お話を伺って私たちの会議で藤井さんも来てくれるのですが、親子で参加ということをやっております。英語も親でも喋られない人がいっぱいいるので、親子で参加して家で会話しようというようにやっても面白くなるかと思います。子どもと限定しなくてもいい気がします。

委員 例えばこの夕方の時間とかでお仕事されても大丈夫なのでしょうか。

町当局 基本的に一日7時間で勤務しているのですが、その分を振り替えるだけなので、学校の空いている時間をそっちに振り替えるという形です。

委員 中学生に利用してもらうなら夕方近くの時間になると思います。

町当局 今度賀茂小学校が午前5時間授業ということをやっているので、空いている放課後のところに英語教室をやろうと企画を学校と考えております。ALTの使い方をそれぞれの学校で検討しております。

委員 上手に働いてくれる活用が広がるといいです。まだ一年で英語という所にまだピンと来ていないのですが、文化を直に触れるという所でもALTはとてもいい事業なのだと感じています。

町当局 また皆さん方でこんなことやったらどうかという意見があったらお願いします。ここで一番下にある光ファイバーは先ほど話が合った通り今年度中には整備するので、これが整備した時にどういう風になるのか。これを使える人がどういう風に活用して、また町づくりやよそから来る企業家の方々が来て活用してくれたらと思っている。この前も町会議員、市会議員の若手の人達と話をしたのだが、光ファイバーの話が出て家へと引くのに部品が必要になり、それが1万円くらいするらしい。初め私が光ファイバーを引くのに担当者にどれくらいかかるか聞いたら、西伊豆町は5億円くらいかかると言われた。その後色々話をしていたらNTTは3億5千万円だという。だから私の頭の中ではまだ1億5千万余裕がある。今言ったものを全部町が光ファイバーを入れる家庭に支給したらどうかと。1万円と言っていたが初めは8千円と言われたので全部やったとして4千軒なので3千2百万円となり、まだ1億まで余裕がある。それでやれば足りるという考え。それをNTTに話をすると、NTTもある程度自分達の利益を多くするために加入者を多くしなければならない。そういうことをしてもらえるとNTTも町に対しての協力体制が引ける。お金をかけることだけでも住民も喜ぶ、業者も喜ぶのならある程度予算的に余裕があればやったらどうかという思いで進めるつもりでいるけど、その時に若手たちが、よくそこまで気がついてやれますと言っていたが、事業的など

ころから入るから色々問題が出てくるが、私はお金の面で余裕があるからと考えているので、そういう視点の違いで色々話題になったが、これがうまく乗っかってもらえれば。役場の人たちはこれをやろうと話をする、こういうことなので出来ませんという。机と椅子もそうだった。学校から重いという話があったと言われた。なら軽くすればいいので、木工屋に行って話をした。そしたら木工屋が設計してくれてやってくれた。それで始めた。学校の先生たちも重いので駄目と言っていたが、いざやったら評判がいいので全校生徒に欲しいということになった。

委員 反対意見からいいものになったわけですね。

町当局 議員の人たちも欲しいと意見があった後すぐに全校生徒にという話があった。1千5百万くらいかかるか。

町当局 追加の分で1千6百万かかります。多めにとっております。

委員 無償化でも机でも統合でも切れ目があります。なんでこの時にと文句もあるかと思えます。

町当局 私たちが学生の時は、机をきれいに使えと言われた。ナイフで傷をつけたらよく怒られた。

委員 今はとてもきれいに使っていますね。

町当局 やはり自分の物という意識があるのですかね。

町当局 教室に入ると木の香りがする。

委員 明るい感じがします。

町当局 最初からきれいだといわずらしめないのですかね。前から古い物だといわずらしたくなるのですかね。

町当局 今、間伐材を活用しようと柵やテーブルなどもやろうと思っている。今度来年から港公園のトイレの外壁も間伐材でやろうと思っている。

新しい事業についてのお話が尽きたようですが、まだ話があればその他で結構ですのでお願いします。

**委員** 教育委員会の施設管理ということでクリーンセンターにあるテニスコートもそうなのですが、現在使えなくなってしまった施設もありますが、老若男女使えるような施設は難しいのですか。

**町当局** テニスコートは2面あり、入口の方のコートは地盤が悪く沈んでしまう。それなので両面とも使っておらず、人工芝に苔が生えてしまっている。

**委員** 田子中学校の跡地も含めてスポーツジムでもあれば。せっかく先生が来るのですからね。

**町当局** もったいないですね。生かし切れない。トレーニングルームの一つでもあればいいのですが。

**委員** いくらでも教室が開けるようなジムとかがあればそういうことも出来るのに施設面が。松崎の温水プールはとてもうらやましい。子どもが通えるような近場に温水プールのスポーツジムでもあればいいと思う。よく大人が歩いているが、物足りないのではないかと思います。やはりプールは扱いやすいものだと思います。

**委員** 私もそれは欲しいと思っております。あれば町の人たちは元気になると言っているのですが、安城公園も結構歩いております。観光客は来ていないですが、毎日歩いている方はおります。

**町当局** 町は作れと言うのなら作りますが、維持管理を利用者がやってくれば。事故などがあつたらそれこそ管理不備で訴えられる。維持管理をしないのであればある程度お金をかけて初期投資をすればいい。宇久須の浪入の広場も宇久須地区と高齢者の会の三者と話し合いをして、町は整備するが、維持管理は宇久須地区と高齢者の会でやるのであれば整備しますという話をしたら、維持管理をやるので整備してくれということになったので、今は使っている。そういう風にして今から使う人たちが少しでも維持管理をやっていくという気構えになっていけばいいと思う。今若手職員に5年後の予算を組んでみるという話をし

て、5年後には今の金額よりも合併特例金というものが4億3千万余分にもらっている。それが今年から5年かけて32年でゼロになっていく。今の予算規模が普通の時で年間47億から48億。それが4億3千万、人口が1千人減ったとしてそれに対する交付税が多少減ってくる。そうすると4億5千万くらい減ってくる。となると47億の予算が37億5千万くらいの予算規模、財源になってしまう。その時にどれだけ足りなくなるのか大きな問題になってくる。実際に4億5千万縮小した予算が組めるのだろうか。これは大きな課題になってくる。今ならできるが5年後だとできないのかもしれない。これが町の状況です。私は今度住民懇談会でこの話をしようと思っているので、少し皆さん方に負担をお願いする場面が出てくるかもしれない。今度も介護保険を千円上げることにしたが、最初月に2千円上げなければ駄目だという話だった。2千円あげたら住民が怒り出す。年間だとしたら2万4千円だ。それだと年金受給者はやっていけない。しかもこれは平均。高額の方は2倍3倍払う人もいる。そういう方々から町へと苦情がある。住民が払うのは介護保険、国民健康保険、水道料が有る訳だが、来年から全部を千円上げるとすると、いっぺんに重なり3千円上げなければならない。町の方は課によって千円だからいいが、住民の方は固まると3千円なので、そういうことが無いようにしようとしている。そして一般会計から介護保険の方へと金を入れようとしたら、法律で駄目ということになっており、無理にでもやろうとしたら国の会計検査が入ることだった。そういうことがあり今年も千円にして、一年置いて千円上げさせていただき、32年くらいにまた千円上げさせてもらう。そうすれば介護保険の方はあと3千円上げれば維持できるのではないかと。その代わりに国民健康保険が駄目です。国保も31年になると赤字になる。国保の方が一般会計から繰り出すのが多めに見てもらっている。なので繰り出すということでやっているが、問題が30年に国民健康保険は県が仕切ることになっている。そのときに西伊豆町の医療費は県下でも高い方だが保険料は低い。なぜかは西伊豆町の所得を見ると低いので国の方で補填してくれているので、安い保険税で間に合っている。もしこれが県の仕切ることになって統合された時にいくらくらいになるか試算したら千5百円ある。千5百円すぐにも上げなければならない。それへと今度は今の保健体制だと赤字になる。それに足して千円上げなければならない。そうすると保険料だけで2千円から3千円上げなければ30年、もしかしたら35年くらいからは統一されるとそれくらいの金額になる。なのでそのあたりの兼ね

合い、水道料金も上げなければならないというところで、負担は多くなると思う。そしてそういう特別会計へとお金を一般会計から入れるとなると、一般会計には社会保険の方が会社で保険料を払い、そして税金を町へと払ってその分から国保の保険へと繰り出すとなると二重になってしまう。そういう議論が出てくるもので、それをどういう風に納得してもらうかという問題が出てくる。

委員 今町長から伺ったことと、少子化等を全て合わせて考えると、町で色々な施設を作るというよりは西伊豆町や松崎町、あるいは土肥も合わせてみんな考えていかなければ。何故かと言いますと私はテニスをやるのですが、松崎町にはテニスコートが5面あり、いつもお借りしているのですが、ほとんど私たち以外の他の人はいません。なのでやはりそういう施設を作ってもどれだけの人が利用するのか考えて作らないといけないと思います。

委員 松崎のコートは質がいいですね。だから使う人は結構居ると思いますが。

委員 夜は1つか2つ。土日はいますけども、平日はほぼ毎日貸し切りです。毎日行っていないですが、見ているとほとんどいません。

委員 この辺の界限を見ているとよくやっていると思います。そういう娯楽施設を西伊豆町としての枠で見ると少しさみしいと感じます。やまびこ荘では数に入らないと思いますし、やはり娯楽施設と言いますかスポーツジムも含めて考えたい。

委員 ただ今女性のスポーツジムが流行っていて、月に3千円くらい払うと毎日30分くらい利用することができ、色々なアドバイスがもらえるというものがあれば凄く嬉しいと思います。

町当局 スペースさえあれば安い機材でなら、人はいるのでちょっとした備品さえ揃えられればできなくはないと思います。

町当局 今から公共施設が空いてくると思うので、それをうまく利用していきたい。先ほど支所、出張所の話をしたが、現在支所、出張所は3つあり、これで6人の職員がおり、年間で7千万から8千万の経費が掛

かる。巡回バスを回した時にいくら掛かるのか。倍かかったとしても半分くらいはそれで浮く。7千万くらい浮けばお金の心配はしなくても済むし、職員も雇わなくても済む。

**委員** 私はほぼ行くことはないのですが、どのくらいの人が支所、出張所に行くのですか。

**町当局** 一日数人くらい。あるところで支所、出張所はもったいないと言う人がいる。それなら解体すればいいと思う。本当は2人つけなければいけないのは無駄だと思う。仕事の量を考えて。だが1人だと心配。最低2人は置きたい。何かをやろうとすると何かが悪くなってしまう。それをどこで折り合いをつけてやっていくのか。この4、5年後が西伊豆町の将来を決める大事な所になってくると思う。学校や斎場、色々な施設の統廃合がある。

**委員** 1年1年が大事になってきます。

**町当局** 今までの1年とは違うものになってくる。

**委員** ほつれた物を直すというのも大事けども、何かに向かっていきたい。例えば自転車をオリンピックでやるとなっていて、最近車を運転しておりまして、こちらまで自転車で来ている人を良く見かけるようになった気がします。もし本当にここまで道がつながるのであれば、自転車も1つのアイテムなのかと。自転車も結構な運動になりますからね。

**委員** 伊豆半島の道路を自転車で走ることが、百万くらいの自転車をレンタルして、一日数万で貸してくれればいい感じになると思います。

**町当局** それなら走るところを整備しなければ。ちゃんとした道路が無いと本当に危ない。ある程度通行止めに来て自転車専用で走らせる所があれば。

**町当局** どこまで規制緩和できるかですね。話が変わりますがジェットスキーなんか難しいのですよね。この間中古車センターに行ったらジェットスキーなんか売ってました。ただやれるところが無いので、

そういうメッカになれば。色々な規制を解除すれば全国から集まってくると思います。ただ色々な権利がありますから難しいと思います。

委員 騒音とかもありますね。お寺にまで音が聞こえてきます。

町当局 音が確かにすごいですからね。火祭りに行った時にも他県から引っ張ってきているのを見ました。

町当局 あれは小型船舶の免許が必要になる。だから国の免許を取っているから規制ができない。規制するにはちゃんとした航路を設定しなければいけない。積み降ろしをするところを規制することは出来るが、浮かべてあってそれを運転することに関しては規制することはできない。それが堂ヶ島の天窓洞の中でもできません。本当にマナーを守ってもらえるのならば大浜でもいいと思う。大浜の海水浴客はほとんどいないので、あそこをジェットスキーの公認の場所にしても。

町当局 シーズン終わった後でもいいですね。

委員 たまに大浜に海水浴客を見ます。

町当局 昔みたいにはいない。

町当局 サーフィンはよく見かけるけれど水上スキーは見ないですね。確かに泳いでいる人もそんなに多くは無いですね。

町当局 そういう所を一つ作っておけば他の所に出ない。

町当局 堂々と遊べるところを彼らは求めていると思います。

委員 この間の火祭りの時なのですが、海賊のコスプレをしていた人が来たのですか。

町当局 いました。地元の人たちも大してはいなかったけれども。

委員 子どもに聞いたら見なかったと言われたのですが、それはそれであったのですね。

**町当局** 去年イビューサを呼んだ時に祭りの屋台を引いてもらった。あれは良かった。最後に田子地区の方はその子達を屋台に乗せて踊らせていた。私は貴方たちは田子の人たちに認められたと伝えた。安良里の祭りでも手伝ってくれて、今年もまた手伝ってくれることになっている。

**町当局** 他に意見がないようでしたら、以上で本日予定しておりました議事を終了いたします。では、事務局にお返しします。

**町当局** それでは、以上をもちまして、平成28年度第1回西伊豆町総合教育会議を閉会といたします。本日は、ありがとうございました。

以上